

令和2年7月10日

経済再生担当
全世代型社会保障改革担当
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
西村 康稔 殿

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

東京都知事
小池 百合子

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム (HER-SYS) に関するシステム改善要望について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムについて、都は、国の運用開始に合わせて先行利用に参加し、そこで明らかとなった様々な課題を整理し厚生労働省との協議を行うなど、早期導入に向けて取り組んできた。また、都内保健所への説明会を開催するなど、保健所設置区市に対し導入に向けた働きかけを行っている。

しかし、本システムについては、いまだ改善されていない課題があり、以下の事項について要望する。

要 望

1 システム利用における責任の明確化

国が本システムを運営しており、詳細なシステム設計やセキュリティの情報等の詳細が自治体に示されていない一方で、利用規約第5条において、「本システム利用に起因又は関連して国及び厚生労働省に対しいかなる責任及び損害も負担させない」と記載されていることによって、一部の自治体において個人情報保護審議会の手続きが難航するなど、導入が遅れる要因となっている。

システムのセキュリティ情報の開示やシステム開発者として国及び厚生労働省の責任を明確にするなど、対応を図ること。

2 データ活用を可能とするシステムの改善

データを活用し日々の感染状況の把握分析ができるよう、データのエクスポート機能を改善すること。また、各自治体が独自に運用しているデータベースを活用しデータ入力等を行えるよう、データのインポート機能を整備すること。更に、各種帳票の印刷機能や患者情報の統計データを画面表示する機能を付加するなど、システム改善を行うこと。

3 データ入力に関するユーザー管理機能の改善

本システムは、保健所、医療機関、宿泊療養施設、患者など、様々な関係者が入力に関わる仕組みであることから、入力ミスやデータの重複等の誤りが生じるリスクが高い。そのため、誤入力の自動検出やログの閲覧機能、データ更新の際のアラート機能を付与するなど、システム改善を行うこと。

4 保健所等現場における意見を踏まえた必要な改善の実施

上記に加え、入力項目が多く画面の切り替えが複雑なため、入力操作の習熟に時間を要することや、生年月日の項目が未入力状態でデータをエクスポートした場合に1年1月1日生まれとしてデータが抽出されるといった課題があり、先行利用保健所の実務者レベルでの意見等を参考にして、現場目線に立った必要な改善を図ること。また、医療機関等にシステム入力の権限を付与するためのID管理について、保健所に負担がかからないよう改善すること。

5 医療機関での円滑な活用の促進

医療機関への導入を促進するため、国の責任において医療機関等に対し説明するとともに、セキュリティを確保したうえで電子カルテと HER-SYS との接続を可能とするなど、効果的に運用出来るシステム環境を構築すること。また、多数の検査を実施する医療機関においても効率的に検査情報を入力出来る環境を整備すること。